

# 第 30 回日本内視鏡外科学会（30<sup>th</sup>JSES）のご案内

第 30 回日本内視鏡外科学会総会を下記のとおり開催いたします。  
会員の皆様には多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

第 30 回日本内視鏡外科学会総会  
会長 坂井 義治

会 期：2017 年 12 月 7 日（木）～9 日（土）

会 場：国立京都国際会館  
〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422 番地

会 長：坂井 義治（京都大学消化管外科 教授）

総会テーマ：心技一体 30 年の想いを新たなる 30 年へ

1991 年に第 1 回内視鏡外科手術研究会（会長：故出月康夫先生）が開催され、以後しばらくは年 2 回の開催でしたが、1994 年から年 1 回の開催となり、1995 年には日本内視鏡外科学会へ発展・改組されました。四半世紀を経て今回第 30 回の総会を迎えるにあたり、テーマを「心技一体：30 年の想いを新たなる 30 年へ」とさせて頂きました。光学系や様々なエネルギーデバイスの発展による内視鏡手術の普及と進化、さらにロボット手術の登場などは、30 年前には予想すらできませんでした。30 年後の手術は果たしてどのような状況となっているのでしょうか。進化し続ける AI を搭載した robotic surgery は我々ヒトによる手術にどこまで関与、あるいは代替することになるのでしょうか。“技”の修練は必要なくなるのでしょうか。現在とは全く異なる修練過程が出現しているかもしれません。一方で医の基本である患者への“心（思いやり）”はこれからも変わることがないでしょう。進化する“技”と医の原点となる“心”の調和が求められます。

先人の開拓された内視鏡手術の歩みをふりかえり、加速する変革に想いをはせる総会になるよう企画しています。

演題応募期間：2017 年 5 月 10 日（水）～6 月 15 日（木）正午（予定）

演題募集はホームページ（<http://www.c-linkage.co.jp/jses30/index.html>）からオンラインで行います。

応募資格：筆頭演者および共同演者は全て会員に限ります。※初期研修医 / メディカルスタッフを除く  
まだ会員になられていない方は、演題申込前に入会手続きを行ってください。  
入会については下記ページをご確認ください。

日本内視鏡外科学会 HP：<http://www.jses.or.jp/about/guide.html>

以下のテーマでセッションを企画しております。(2017年4月時点)

## ■特別企画

- ・30年後の手術を妄想する -AI・ロボット・宇宙空間-
- ・骨盤の“Mesoanatomy”-内視鏡外科と局所解剖の融合-
- ・外科医の「心」から「技術」,「技術」から「心」へ
- ・ワークライフバランスを考えたスターサージャンへの道
- ・高難度症例への挑戦(大腸): Challenge to the difficult cases: Beyond the Guidelines

## ■領域横断

(エデュケーショナルビデオ) シンポジウム領域横断

- ・若手のエキスパートによる標準手術: 辛辣な批評に耐えられるか? ①胸腔
- ・若手のエキスパートによる標準手術: 辛辣な批評に耐えられるか? ②上腹部
- ・若手のエキスパートによる標準手術: 辛辣な批評に耐えられるか? ③大腸・骨盤
- ・若手のエキスパートによる標準手術: 辛辣な批評に耐えられるか? ④ヘルニア・小児

(エデュケーショナルビデオ) パネルディスカッション

- ・こんなときどうする!? Pitfall とその対処 (①胸腔/上腹部)
- ・こんなときどうする!? Pitfall とその対処 (②骨盤)

(ビデオ) ワークショップ

- ・高難度症例への挑戦 (①胸腔)
- ・高難度症例への挑戦 (②上腹部)
- ・高難度症例への挑戦 (③大腸)
- ・高難度症例への挑戦 (④婦人科・泌尿器科)

パネルディスカッション

- ・内視鏡手術による新たな外科解剖の展開 (①上部消化管)
- ・内視鏡手術による新たな外科解剖の展開 (②肝胆膵)
- ・領域横断的な内視鏡下側方郭清の実際: 共通点と相違点
- ・エナジーデバイスの使用法: どこがまちがっているか?

ワークショップ

- ・内視鏡手術における新しい技術: Innovation とその先にあるもの
- ・骨盤臓器脱の手術
- ・これからのロボット支援手術: 適応拡大に向けて
- ・骨盤内臓全摘術

## ■医工連携

パネルディスカッション

- ・医工連携に必要な人材の育成
- ・医工連携における事業化戦略の課題

## ■教育

### 国際シンポジウム

- ・Surgical training：現状と今後の方向性

### パネルディスカッション

- ・技術認定制度の意義と問題点

### ワークショップ

- ・内視鏡外科手術の教育：よりよいシミュレーターの開発を目指して
- 文科省内視鏡外科教育プログラム・共催シンポジウム
- ・他領域から学ぶ領域横断的内視鏡手術トレーニング

## ■上部消化管

### パネルディスカッション

- ・食道胃接合部癌に対する内視鏡外科手術
- ・腹腔鏡下噴門側胃切除：再建の工夫
- ・腹腔鏡下胃全摘術：郭清と再建の工夫

### ワークショップ

- ・腹腔鏡下食道裂孔ヘルニア修復術・噴門形成術の実際
- ・食道切除術における縦隔鏡アプローチの工夫
- ・胸腔鏡下食道切除における上縦隔郭清
- ・進行胃癌に対する腹腔鏡下手術
- ・ロボット支援胃癌手術が普及する時代にどう対応するか：導入・適応・各施設の工夫

## ■下部消化管

### 国際シンポジウム

- ・“Real world and perspectives (futures) of TaTME---No doubt ? ”

### ワークショップ

- ・再発大腸癌：どう攻めるか？
- ・横行結腸癌に対する腹腔鏡下手術
- ・UC/FAP に対する大腸全摘

## ■肝胆膵・脾

### シンポジウム

- ・腹腔鏡下肝切除においてこれだけは伝えたいこと

### パネルディスカッション

- ・悪性腫瘍に対する腹腔鏡下脾切除の切除限界
- ・高難度腹腔鏡下肝切除の定型化と標準化

### ワークショップ

- ・腹腔鏡下肝切除時代の肝離断法
- ・腹腔鏡下脾頭十二指腸切除術の導入とその成績

## ■小児外科

パネルディスカッション

- ・先天性胆道拡張症の内視鏡手術

ワークショップ

- ・ヒルシュスプルング病の内視鏡手術

## ■呼吸器外科

シンポジウム

- ・日本の胸腔鏡手術・アジアの胸腔鏡手術

パネルディスカッション

- ・アプローチ法別のメリットを探る：肺癌に対する低侵襲手術
- ・呼吸器外科領域における技術認定制度は必要か

ワークショップ

- ・VATS 下気管支形成術の工夫
- ・胸腔鏡手術をどのように教育していますか？
- ・Reduced port surgery・Single port VATS lobectomy：標準化できるのか？標準化するのか？

## ■婦人科

シンポジウム

- ・婦人科内視鏡手術のいま：先進医療・保険収載を経て

パネルディスカッション

- ・婦人科内視鏡手術における尿路・腸管剥離操作：どこまで触ってもいい？術後合併症にはどう対処する？
- ・機能温存を考慮した子宮筋腫・子宮内膜症の治療戦略

ワークショップ

- ・広範子宮全摘（腹腔鏡・ロボット）：コツと工夫

## ■泌尿器科

シンポジウム

- ・ロボット支援前立腺全摘術～各ステップを極める

パネルディスカッション

- ・ロボット支援腎部分切除術の現状と課題

ワークショップ

- ・膀胱全摘での尿路変更
- ・腹腔鏡下副腎手術～私はこうしている

## ■整形外科

シンポジウム

- ・膝関節鏡視下手術の最前線

ワークショップ

- ・脊椎外科における内視鏡手術の未来

## ■頭頸部外科

### ワークショップ

- ・頭頸部領域における内視鏡手術の進歩

## ■ヘルニア

### シンポジウム

- ・鼠径ヘルニア：再発・困難症例への対処

### ワークショップ

- ・鼠径ヘルニア：再発症例をふりかえって
- ・腹壁癒痕ヘルニア：手技と成績

## ■肥満外科

### ワークショップ

- ・腹腔鏡下肥満・糖尿病外科手術の現状と展望

## ■メディカルスタッフ

### シンポジウム

- ・チームにおける臨床工学技士の役割と未来展望

### ワークショップ

- ・腹腔鏡手術を安全かつ円滑に行うための技～情報共有，教育，チーム作りへのこだわり～

## ■公募／一般演題

第30回総会では，一部の上級演題，Surgical Forum（口演）およびポスター（eポスター）のセッションにおいて皆さまより演題を募集致します。

詳細はホームページに公開いたします。

**問合せ先：**第30回日本内視鏡外科学会総会 事務局

事務局長：小濱 和貴（京都大学 消化管外科 准教授）

総会事務局：河田 健二（京都大学 消化管外科 講師）

肥田 侯矢（京都大学 消化管外科 講師）

角田 茂（京都大学 消化管外科 講師）

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54

第30回日本内視鏡外科学会総会 運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ内

〒604-8162 京都府京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町 634

TEL：075-231-6357 FAX：075-231-6354

E-mail：jses30@c-linkage.co.jp